



【特集】

JA福岡市東部「組合員意向調査」結果のご報告

JAの自己改革に関する 組合員アンケート

JAグループ福岡では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。

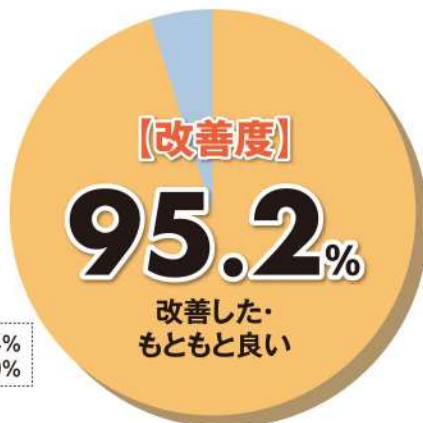
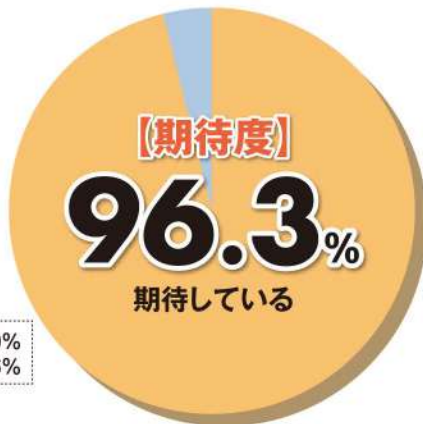
これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、「組合員意向調査」を実施させていただきました。お忙しい中、調査にご協力くださった皆さまに厚く御礼申し上げます。

このたび、調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたします。

- ▶ 調査期間:平成30年11月~平成31年3月
- ▶ 調査対象者:正・准組合員
- ▶ 回答者数:6,101人



Q1. 自己改革への評価



(※)期待度は「期待している」「やや期待している」「どちらかといえば期待している」、満足度は「満足」「やや満足」「どちらかといえば満足」、改善度は「もともと良い」「改善した」「改善しつつある」を集計しています。

Q2. JAの必要性

必要な存在だと
感じない
2.8%

97.2%

(JAは)必要な
存在だと感じる

県全体:95.1%
全 国:93.5%

- 正・准組合員の97.2%が、「(JAは)必要な存在だと感じる」と回答しています。

Q3. 総合事業の継続

農業関連事業
のみに特化すべき
2.6%

97.4%

総合事業は
継続すべき

県全体:93.0%
全 国:91.4%

- 正・准組合員の97.4%が、「総合事業は継続すべき」と回答しています。

Q4. 農業や地域づくりの応援

応援したいと
思わない
1.5%

98.5%

(JAの地域農業の振興
や地域づくり活動を)
応援したいと思う

県全体:97.6%
全 国:96.0%

- 准組合員の98.5%が、「(JAの地域農業の振興や地域づくり活動を)応援したいと思う」と回答しています。

Q5. 准組合員の事業の利用の制限

事業の利用は
制限した方がよい
4.5%

95.5%

事業の利用は
制限しない方がよい

県全体:90.8%
全 国:88.9%

- 正・准組合員の95.5%が、「事業の利用は制限しない方がよい」と回答しています。

JA福岡市東部では『食と農を基軸として地域に根ざした協同組合』として、多様な農業者のニーズに応え、担い手をサポートし、農業者ならびに地域住民と一体となって、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現していきます。

JAグループ福岡の自己改革の基本目標である、

『**農業者の所得増大**』『**農業生産の拡大**』『**地域の活性化**』

の3つの実現に向け、

『^{こえ}～超越てあしたへ～』を中期ビジョンにして、「食と農・地域を未来につなぐ」を基本に総合事業を展開し、組合員・地域の皆さまに**信頼され続けるJA**をめざして、自己改革に取り組んでいます。



JA福岡市東部の自己改革の実践

JA福岡市東部では、今回の調査結果を踏まえ、組合員の皆さまからのより一層の理解と評価を得るため、自己改革の取り組みをしっかりと伝え、以下の自己改革の実践について取組強化を行ってまいります。

新たな担い手の育成や レベルアップ対策

- 志賀島農業研修施設にて、2018年度に第一期生として2人の研修生が修了し、新規就農者としてスタートを切りました。2019年度も2人の研修生を新規就農者として受け入れ、研修を行っています。



農作業受託事業

- 組合員の所有する農地を荒廃させないために、JAによる農作業受託事業を行い、荒廃地の解消に努めています。令和元年度(上半期)は、26件・28回(35,599㎡)の受託作業を行いました。



マーケットインに基づく 生産・販売事業の実践

- 市場への出荷だけでなく、直売・相対取引等の拡充をめざして、新たな販売方法の拡大を行っています。今年度、新たに青果店と契約し、取引を始めました。
- 地産地消運動の強化を図り、消費者との交流拠点として、農産物直売所「愛菜市場」による数々のイベント開催や、地域イベントへの地元農産物の出張販売を行っています。



地域農業を支える担い手の 様々なニーズに応える個別対応

- 生産者圃場へ積極的に巡回し、農産物栽培指導を行うとともに、売れる作物・品種の提案並びに試作を行います。
- 安定生産・適期出荷を推進するため、栽培講習会、土壌診断、花芽検鏡、糖酸度検査を行うとともに、生産現場での安全性を確保するため、残留農薬の分析を継続して行っています。

「地域の活性化」への貢献

- 地域イベントへの参加やグラウンドゴルフ大会の主催、支店でのイベント開催など、各支店による様々な行動計画をもとに、「地域密着活動」を行い、地域の活性化および地域の方との交流を深めています。
- JAの特性を活かした「食と農を基軸としたイベント」を開催し、組合員の積極的な参加と利用の促進を図るとともに、JAファンを拡大し、絆を深め、地域の活性化に努めています。

